

江東区工事成績評定要綱

平成20年1月31日

19江総経第2151号

(目的)

第1条 この要綱は、江東区契約事務規則（昭和39年3月江東区規則第11号。以下「規則」という。）第67条の2及び江東区工事施行規程（昭和47年5月江東区訓令甲第7号。以下「規程」という。）第23条の2の規定に基づき、江東区が施工する請負工事に係る成績評定（以下「評定」という。）に関し必要な事項を定めることにより、監督員及び検査員による厳正かつ適切な評定を実施し、もって工事施行の適正化及び工事請負者の指導育成に資することを目的とする。

(対象工事)

第2条 評定の対象となる工事は、契約金額が500万円以上の工事の請負契約（単価契約を除く。）を対象とする。

(評定者)

第3条 評定を行う者（以下「評定者」という。）は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 規則第54条第1項に規定する監督員

(2) 規則第56条第1項に規定する検査員

2 前項第1号に規定する監督員は、規程第10条に規定する標準仕様書に定める総括監督員、主任監督員及び担当監督員とする。ただし、主任監督員又は担当監督員が欠けた場合は、この限りでない。

(評定の時期)

第4条 評定は、原則として工事の完了検査合格の日から起算して、14日以内に行う。

(評定項目)

第5条 評定する項目は、次のとおりとする。

(1) 基本的な技術力と成果の評価

ア 施工体制

イ 現場管理

ウ 施工管理

- (2) 技術力の発揮
 - (3) 創意工夫と熱意
 - (4) 社会的貢献
 - (5) 法令遵守等
- (評定の方法)

第6条 評定は、次の各号に掲げる評定者が、当該各号に定める項目について評価することにより行う。

- (1) 主任監督員及び担当監督員 前条第1号から第4号までに掲げる項目
 - (2) 総括監督員 前条各号に掲げる項目
 - (3) 検査員 前条第1号ウに掲げる項目
- (主任監督員及び担当監督員の報告)

第7条 主任監督員及び担当監督員は、評定を行ったときは、評定の結果を工事成績評定表（別記第1号様式）により、総括監督員へ報告する。

(検査員の評定)

第8条 検査員は、評定を行ったときは、評定の結果を契約担当者へ報告するとともに、検査成績評定表（別記第2号様式）により総括監督員へ通知する。

(総括監督員の評定)

第9条 総括監督員は、第7条の規定により報告を受けたときは、主任監督員及び担当監督員の行った評定結果を総合的に判断の上評定し、その結果を工事成績評定表に記入する。

2 総括監督員は、前条の規定により通知を受けたときは、検査員の評定結果を工事成績評定表に記入する。

3 総括監督員は、前2項の手続を終えたときは、工事成績評定表及び工事成績評定報告書（別記第3号様式）により、工事を主管する部の部長へ報告するとともに、評定の結果を契約担当者へ通知する。

(評定結果の通知)

第10条 契約担当者は、前条第3項の規定により通知を受けたときは、評定の結果について工事成績評定通知書（別記第4号様式）及び項目別評定点表（別記第4号の2様式）により、当該工事の請負者へ通知するものとする。

(評定内容の説明)

第11条 前条に規定する通知を受けた者（以下「被評定者」という。）は、評定を行った総括監督員に対し、評定の内容について説明を求めることができる。

(苦情申立て)

第12条 被評定者は、評定の内容に不服があるときは、第10条の規定により通知を行った契約担当者に対し、苦情申立書（別記第5号様式）により苦情申立てをすることができる。

(工事成績評定苦情審査委員会への意見徴取)

第13条 前条の規定により苦情申立てを受けた契約担当者は、当該苦情申立てに厳正かつ公正に対応するため、工事成績評定苦情審査委員会付議依頼書（別記第6号様式）により、苦情内容について工事成績評定苦情審査委員会へ付議し、その意見を徴しなければならない。

(苦情申立者への回答)

第14条 契約担当者は、苦情申立てを回答するに当たっては、前条の委員会の意見を十分検討し、回答書（別記第7号様式）により速やかに苦情申立てをした者に回答しなければならない。

(工事成績評定苦情審査委員会)

第15条 被評定者からの苦情に関し、厳正かつ公正な視点による調査審議を行い、評定に関する適切な意見を表明するため、工事成績評定苦情審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

- 2 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
- 3 委員長は、総務部長の職にある者をもって充てる。
- 4 委員は、土木部長、総務課長、経理課長、営繕課長、管理課長、道路課長、河川公園課長、施設保全課長及び学校施設課長の職にある者をもって充てる。
- 5 委員長は、必要に応じて委員会を招集し、会務を総理する。
- 6 委員長に事故のあるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。
- 7 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

- 8 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 9 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 10 議事に利害関係を有する委員は、当該議事に加わることができない。
- 11 委員長は、必要があると認めるときは、苦情申立てをした者又は当該苦情に係る工事の評定を行った監督員若しくは検査員を委員会に出席させ、その意見を徴することができる。
- 12 委員会の庶務は、総務部経理課において処理する。

(委任)

第16条 この要綱の施行に関し、必要な事項は、総務部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行し、施行日以後に契約を締結した請負工事について適用する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和4年2月28日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程による改正後の江東区工事成績評定要綱の規定は、工期の末日が施行日以後の工事について適用し、工期の末日が施行日以前の工事については、なお従前の例による。

工事成績評定表

総評定値
点

工事名称											種 別	土木・建築・電気・機械・新 F							
請負者名											工 期	から まで							
契約金額	円										総工金額	円							
検査年月日											検査年月日								
評定者	評定者 ・補1	基本となる技術力・成果の項目										技術力の発揮	計画工日を超過	社会貢献	評定者名	法令遵守等	建設者名	監理者名	新 F 値(工事得点)
		施工体制			現場管理		施工管理			品質管理									
監理者	監督員																		
	主任監理員																		
	主任監理員	3.0	3.0	3.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
検査員																			
計		3.0	3.0	3.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

1 原則は工事の別に応じ、(1)～(10)及び、新 F 値算出時の免状区分を記入する。
 2 各評定者の評定項目、小数点第2位を四捨五入する。
 3 法令遵守等及び発注者名は建設者名に記入する。
 4 監理者名、必ず記入する。

検査担当係長	契約係長	経理課長

検査成績評定表

契約番号		検査員	
工事件名			
履行場所		請負者名 (所在地)	
契約金額	円	前払金額	円
契約日		工期	～
変更金額		工期変更	
完了日		検査日	

評定項目	細目	重要度	評定点	×重要度	小計	合計点	
施工管理	施工管理				A ()	F=A+B+E ()	
	品質管理				B ()		
	出来ばえ	出来形			C		E=C+D ()
		出来ばえ			D		
<input type="checkbox"/>	再検査	再検査を実施した場合は、10点減点とする。(G欄に-10と記入)この結果、総合点が50点を下回った場合は、総合点を50点とする。			G	G	
総合点		F+G				点	
特記事項				工事成績評定点(30点満点換算)			
				施工管理	品質管理	出来ばえ	計

- 備考 1 各項目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とし、小数点以下を四捨五入する。
- 2 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第二位を四捨五入し、合計点及び総合点を算出する。
- 3 再検査を実施した場合は、再検査欄の□をチェックして記載された調整を行い、総合点とする。この場合各細目ごとの点数は、上記2の算出結果の比率により按分して、二段書きとし、()内に記入する。
- 4 上記1～3による各細目ごとの評定点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

担当監督員	主任監督員	総括監督員	部長

工事成績評定報告書

年 月 日

工事主管部長 殿

工事主管課長

工事成績評定について下記のとおり報告します。

契約番号	第 号
工事件名	
工事箇所	
請負者名	
契約金額 変更契約金額	
工 期	年 月 日から 年 月 日
変更工期	
完了年月日	年 月 日
完了検査年月日	年 月 日
総括監督員所属・氏名	
主任監督員所属・氏名	
担当監督員所属・氏名	
検査員所属・氏名	
監督員評定点	点
検査員評定点	点
評定点合計	点
法令遵守等	— 点
総評定点	点

別記第4号様式(第10条関係)

第 号
年 月 日

請負者

江東区契約担当者

工事成績評定通知書

貴社が施工した工事について、江東区工事成績評定要綱第10条に基づき、別紙のとおり成績評定結果を通知します。

別紙評定結果に疑義のある場合は、下記の成績評定の結果についての問い合わせ先に対し説明を求めることができます。また、その説明に不服がある場合は、江東区工事成績評定要綱第12条に基づき、下記の苦情申立てについての問い合わせ先に対して、この通知を受けた日の翌日から起算して30日以内(期間の末日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日、12月29日から同月31日までの期間、1月2日、同月3日、日曜日及び土曜日に当たるときは、期間はその翌日に満了する。)に書面により苦情申立てを行うことが出来ます。

苦情申立てに対する説明は、書面により回答します。

成績評定の結果についての問い合わせ先

苦情申立てについての問い合わせ先及び送付先

工事成績評定結果

工 事 件 名	
工 期	
請 負 者	
成 績 評 定	

評定等級

評 定	優良	良好	普通	やや不良	不良
評 定 点	100～80	79～70	69～60	59～50	49～

項目別評定点表

工事件名	
製約番号	

評 定 項 目 ・ 細 目			評 定 点 / 満 点
1 基本的な技術力と成果の評価	施 工 体 制	施 工 体 制 全 般	/ 5点
		配 置 技 術 者	/ 5点
		対 外 調 整	/ 5点
	現 場 管 理	安 全 衛 生 管 理	/ 10点
		工 程 管 理	/ 10点
	施 工 管 理	施 工 管 理	/ 15点
		品 質 管 理	/ 15点
		出 来 栄 え	/ 30点
	2 技 術 力 の 発 揮		
3 創 意 工 夫 と 熱 意			/ 2点
4 社 会 的 貢 献			/ 1点
5 法 令 遵 守 等			
総 評 定 点			/ 100点

通常の評定は、「1 基本的な技術力と成果の評価」で評定しますので、「2 技術力の発揮」、「3 創意工夫と熱意」及び「4 社会的貢献」については、評定しないことがあります。

別記第5号様式(第12条関係)

<p>苦 情 申 立 書</p> <p>年 月 日</p> <p>殿</p> <p>申立者の住所商号氏名等</p>	
件 名	
履 行 場 所	
履 行 期 限	
契 約 金 額	
不服のある事項	
根拠となる事項	

別記第6号様式(第13条関係)

江東区工事成績評定苦情審査委員会付議依頼書

第 号
年 月 日

委員 長 殿

契約担当者

江東区工事成績評定苦情審査委員会に付議するため、下記議案を別添のとおり提出するので、手続き方取り計らい願います。

記

件 名		
履 行 場 所		
履 行 期 限		
契約の相手方	住 所	
	氏名又は名称	
契 約 金 額		
備 考		

別記第7号様式(第14条関係)

回 答 書	
年 月 日	
申立者の住所商号氏名等 殿	
契約担当者 ㊟	
件 名	
履 行 場 所	
履 行 期 限	
契 約 金 額	
不服のある事項	
不 服 事 項 に 対 する 回 答	